



第112号 2021年(令和3年)2月20日 発行

発行 全国通信三田会 会報は正会員の情報紙です。
\*年会費 2千円
\*郵便振替番号 00120-2-18806
\*複数年度お支払いの意向をお持ちの方も会計処理できるようにしました。
\*会への連絡は8面の連絡先へ

第一二二号

卒業25年 1995年三田会「新日吉記念館見学会」実施
2020年9月5日(土) 15:00~16:30



~コロナ対策に万全を期し、新日吉記念館初の公式コケラ落とし~
去る9月5日(土) 15:00~16:30頃まで、日吉キャンパスにおいて、「卒業25年 1995 三田会記念館見学会」が盛会裏にて行われた。



1995年三田会は、当初恒例により、去る3月23日の卒業式にご招待されていましたが、不測のコロナ禍の拡大により、従来形式の卒業式そのものが中止となり、リモート方式の大幅に簡略化された卒業式となったためです(会報111号参照)。
冒頭、塾員センター北村課長が当日までの経緯をご説明。
・三田会側と密接な連携のもと、1995年

の9と5のつく日時9/5(土)に実施を決定。塾と連名全卒業生に改めて通知をした。
・本日は当時の全卒業生7700名のうち、約400名(うち通信卒は4名)が出席。塾と三田会双方の慎重な運営に感銘した。「塾歌斉唱」は全員無言で斉唱。

【長谷山彰塾長ご挨拶】
・1995年三田会ご招待を苦渋のうちに延期したが独立自尊の精神が、今こそ試されている。
・新しい教育の模索、塾生の底力を見せたい。
・新記念館見学会は塾としてコロナ禍の中で、初めての公式開催の意義深い行事。新記念館をビデオを通してであるが十分にご見学を。

【駒村圭吾常任理事ご挨拶】
・福澤先生も伝染病チフス罹患を経験した。その体験から北里研究所が設置。
・専門家の意見を尊重。ただし病には媚びず正しく対処することが重要と説いた。
・三密こそ三田会の原点。英知を傾けて各所の活動を工夫して欲しい。

【三田貴良1995年三田会代表ご挨拶】
・9と5にこだわり、9月5日(土)にコケラ落としの日時を塾と調整設定。
・12/27まで記念事業(寄付金)は継続、ご協力を願いたい。

【2020年3月23日(月)の学位記授与式を約20分のビデオにて紹介】
・6224名。但し卒業生のいない記念館大会場を映写。出席者一同固唾を飲んで注視。「記念館建設工事を放映」
・当日は三密を避けるため、代わりにビデオにて建設決定~建設中~竣工の流れを放映。

- <3つの目標>
1. 伝統を継承したキャンパスの新しい顔をつくる(周辺環境と調和した白の外観など)
2. 式典利用のための祝祭空間をつくる(1万人収容。60mワイドステージ)
3. 多彩なニーズに応える大空間をつくる(40m×60mのアリーナ)など。

【島田豪 実行委員長ご挨拶】
・12/27 迄基金への協力を。よろしく! 「若き血斉唱」
片手を振り無言で力強く斉唱。
副会長 吉浜 健二(1995政)・記



本を紹介

『商人(あきんど) 五吉池を見る』
庵原高子著
\*田畑書店
(2020年7月30日発行)
ISBN 978-4-8038-0375-4
本体価格: 800円



本書は、序章の日露戦争出征から始まり「全二十四章」398頁。関東大震災、太平洋戦争を生き抜き戦後の我が国の繁栄を支え、終章の「鎌倉カーニバル」に至る「ひとりの商人(あきんど)の物語」である。主人公「鈴木五吉」は、愛知県知多郡庄屋の五番目三男坊として、明治十四年に生まれ、明治三十七年二十三才で、日露戦争金州南山の戦いに加わった。右腕を負傷しつつも帰国。左手で算盤を弾く練習を重ねる。その後東京に出て商人として身を立てることを決意。神田の和菓子屋の娘と結婚。廻町に羅紗問屋を構え独立。その後「関東大震災」「五・一五事件」「二・二六事件」「大東亜戦争」など苦難の中を逞しく生き抜いた。昭和二十九年十二月に鎌倉で

亡くなるまで、著者自身の父をモデルとして描いた、一市井人の長編大河小説である。
家族や登場人物それぞれの会話がリアルであり、いわゆる超人的成功物語ではない。読者は連続テレビ小説を見るようにそれぞれの時代をとりまく生活に自然と引き込まれてゆくようなマジックがある。
書名の原題は第十六章「商人五吉 水のない池を見る」から引用。『商人五吉池を見る』の書名決定にいたった経緯は「あとがき」に克明に記され興味深い。
書店で実際に手に取り、コロナ禍の新しい日常生活の中でのご一読を勧めたい好著である。



故和泉川信氏のご功績をコロナ禍で想う
沖繩通信三田会 会長 長濱 直次

新型コロナウィルスで特別な年となった2020年、沖繩通信三田会は創立50周年を迎えましたが、国の緊急事態宣言や沖縄県独自の社会環境のため、予定の活動が中止となる残念な状況に至りました。
密集、密接、密閉を避ける「新しい生活様式」で暮らしていかなければならぬ中で、4月から全国通信三田会のリモート会議が開催され、全国の皆様と親睦や情報交換の機会を頂いていることに、関係者の皆様の先見性と実行力に感銘し、心から感謝申し上げる次第です。
『草』を発表。一男一女の母である。
現在は神奈川通信三田会の読書同好会の講師を気持よく引き受けていただき、会員の誰からも親しまれながら、同時に精力的に創作活動を続けられている。パワフル溢れる大先輩でもある。
(神奈川通信三田会会長 吉浜健二・記)

会への連絡は下記へ
下記のようにご連絡くださるようお願いいたします。
◎会へのご意見など
事務所へは郵送のみでお願いします。緊急の用件の場合
会長へ Tel 029-875-0533
山岡方(夜間7時~11時まで)
◎住所・姓名変更 退会 逝去者など
田沼方 Fax 03-6874-6718
(住所変更は下記塾員センターへ一報!)
https://www.dco1.adst.keio.ac.jp/kj/jukuin/mailform.html
◎新入会申し込み、会計関係(文書で)
〒340-0003 埼玉県草加市福荷2-5-2 大川成一方
◎「全国通信三田会報」原稿送り先
〒376-0101 群馬県みどり市大間々84-18 星野寿美方
Tel & Fax 0277-73-1529
Eメール sincere@vi.sunfield.ne.jp
次号原稿締め切り 2021年5月末日
原稿字数 800字位



細田はづき氏(21法)の急逝を悼む
副会長 幸治典子

うです。慶應義塾大学、通信三田会に多大な足跡を残された和泉氏ですが、令和元(2019)年7月10日に95歳で永眠されました。ここに和泉川信元会長の功績に重ねて敬意を表し、慎んでご冥福をお祈り申し上げます。
昭和45(1970)年に、沖繩通信三田会の発足とともに、初代の会長にご就任された後は、リーダーシップを発揮して、各地の三田会と交流を深められました。特にハワイ三田会や徳島通信三田会との交流会、フィリピン・ヨーロッパやシンガポール・マレーシア旅行と旅行記の発行など、会員の親睦、交流に多大なご貢献をなされました。
大学卒業50年を記念して招待された入学式には、ご子息と一緒に参加されたそ

「中国新聞」17面  
令和2年11月25日(水)  
「中国新聞」17面  
令和2年12月2日(水)

### 民衆教育を

### 自らも実践



### ペスタロッチー賞に98歳村井・慶応大名誉教授

広島大教育学部(東広島市)などは24日、優れた教育実践している個人や団体を表彰する「ペスタロッチー教育賞」の本年度の受賞者に、慶応大名誉教授の村井実さん(98)を東京都、写真IIを選んだと発表した。12月1日に学内で表彰式と記念講演がある。

村井名誉教授は広島文理科大(現広島大)を卒業。1946年に同大教育学科助手、61年に慶応大文学部教授に就任した。同年、広島大から文学博士の学位を授与された。教育哲学を専門とし、米國やドイツなどでも研究を重ねた。

86年にはスイスの教育家で「民衆教育の父」と呼ばれるヨハン・ハインリヒ・ペスタロッチー(1746~1827年)を紹介する著書『ペスタロッチーの考え方』を自ら執筆し、自身の実践を通して思索し続けてきたことが受賞理由となった。

同賞はペスタロッチーにちなんで1992年に創設された。中国新聞社などが後援し、今年が29回目となる。

(堅次亮平)

### 中国わいど

### 村井実慶應義塾大学名誉教授に「第29回 ペスタロッチー教育賞」

ペスタロッチー教育賞とはペスタロッチーを研究し、戦後の教育に貢献した教育学者 長田新を記念し、教鞭をとった広島大学大学院教育研究科が1992年に設立した賞です。

村井実慶應義塾大学名誉教授について補足させていただきます。

【村井実】先生は1969年(54年)10月より1971年(56年)9月まで慶應義塾通信教育部長を経験されており、学園紛争の中、通信教育部の改革に尽力されました。

「通信教育用テキストの改定」、「レポート返却の迅速化」、「地方での学習指導強化」、「学力考査の廃止」と大学通信教育の「開かれた大学」、「正規の大学教育」を目指す改革に取り組みられました。ご子息に村井純慶應義塾大学名誉教授がいらっしゃいます。

副会長 瀬戸田 誠・記

### 研究の日々思い感慨

広島大 ペスタロッチー賞表彰式



村井さんオンライン講演  
広島大教育学部(東広島市)を、慶応大名誉教授の村井実さん(98)東京都に贈った。東広島キャンパスでの「ペスタロッチー教育賞」表彰式があり、オンライン講演も実施された。

村井さんは表彰状を受け取るセレモニーに続き、スクリーン越しに講演。関係者や学生たち約100人に対し、研究の日々を振り返り、「近代教育を考へる」ということは、その中心だったペスタロッチーを考へることだと痛感していると語った。

同賞は29回目。実行委員長の越智光夫先生は「人がよりよく生きようとしていける事実を認め、初めて教育が成り立つという、ペスタロッチーの教育の本質を訴え続けてこられた」とたたえた。

(長久慶佑)

### コロナウイルスの功罪

平元経卒 瀬戸田 誠

2020年は、世界中がコロナウイルスに攪乱された一年でした。そして、今までの生活スタイルを根本的に変化させました。仕事のやり方、日常生活の様式、感染対策等「コロナウイルス」の一番の罪は、人間の築いた今までの「繋がり」を分断したことでは無いかと思います。人類は未曾有の自然災害と戦い、「絆」を強く助け合ったという、思いが強く感じられます。この機会を最高のチャンスと思ひ、ピンチをチャンスに変える行動を望むところで。

福澤諭吉先生は「学問のすずめ」の中で「世の中に最も大切なものは、人と人の交わり、付き合いなり」と述べています。長谷山塾長が良く引用される言葉の一つです。また、陽明学者であり、哲学者、思想家でもある「安岡正篤」は「人を結んで事をなす」と。改めて慶應義塾の「三田会」の意義、素晴らしさを感じる今日この頃です。

### 埼玉合同三田会 報告

青島健太郎氏『野球を通しての人生観』  
埼玉通信三田会 会長 大川 成一

2020年9月12日(土)に越谷サンシティ4階の「桐の間」で埼玉合同三田会例会が61名の参加で開催されました。

中心の内容ですが、塾歌や若き血の斉唱はやはり塾員を改めて自覚する思いです。

埼玉通信三田会会員も3名参加していました。通信で今年文学部を卒業した女性も参加していました。今回は、やむを得ず休会

### 会長紹介

### 愛知通信三田会 岩田賀世会長(平3年法)



まずは愛知通信三田会について紹介いたします。会員数は約60名。1月の総会及び新年会、6月の新塾員歓迎会、9月の東海地区合同通信三田会の持ち回り開催、会報誌の発行等。また、4年おきの慶早野球戦inナゴヤドームへの応援。さらに、2020年度は愛知通信三田会創立30周年記念行事を、全国通信三田会春期幹事会との同時開催で行う予定で最終段階まで準備してまいりましたが、COVID-19感染拡大防止のため残念ながら断念しました。

次に愛知通信三田会初の女性会長である岩田賀世会長をご紹介します。岩田会長は、2012年3月法学部を卒業され、2016年1月からは会長という重責を担っていらっしゃいます。

大変アクティブな方で、慶應通信在学中も色々なことを楽しもうとの考えで、大学主催の各種行事などには都合のつく限り参加していたそうです。その中で、初めて夏期スクーリングに参加した時に開催された三田キャンパスツアーで、普段なかなか入る機会のない演説館を見学できたことが大変心に残っているとのことでした。

また、講師派遣などで、多くの先生方と直接お話しする機会が持てたことは本当に幸せなことと、塾員であることでも多くの新しい出会いに恵まれ感謝しているとのこと。慶應通信で得たものは「出会い」です、と常々おっしゃっています。

岩田会長は現在、中部国際空港(セントレア)で、空港内の案内や、社会見学の子どもたちに空港の施設や飛行機についての

で43万人の犠牲者をだしたが、年末までに犠牲者は大戦の犠牲者を上回るかもしれない。コロナ終息は2024年までかかるのではない。塾の内部留保は600億円だがハーバード大学は3兆円」という話でした。

今回のハイライトは青島健太郎氏の講演でした。スポーツキャスターとして活躍しています。演題は『野球を通しての人生観』。人生観は「アメリカと日本の野球にひたむきに」でした。「アメリカと日本の野球の相違は同じ9イニングでも時間の(長短)でみても時間のとれる。平均するとアメリカは2時間40分で日本は3時間20分となっている。これは日本が守りの野球になっっているせいだ。戦時中に英語禁止になりストライクの言いかえは「よし」となった。

本来のストライクの英語(STRIKE)は「打て」ということでアメリカでは初球からスビーディーな展開を要求されているが、日本は「いい球」という「よし」で守り重視となっている。大リーグで活躍している日本人プレーヤーはイチローの

ように初球から積極的に打っていくタイプでないと大成しない。また、ピンチになるとマウンドで守備側の選手が集まるのが日本的だ。このような日本の野球の文化の相違からみえてくるものがある。日本人は同調圧力でマスク着用が当たり前のようになっていく。

また、声を出すことでのが鍛えられ元気になる。声の抑揚での表現は高音(営業用)と低音がある。高音では、スポーツやお笑いなどの楽しい雰囲気である。低音は報道やノンフィクションなどの安心が届く。澁淵とした声は、元気の素ということだ。

メルボルンでの日本語教師の時に、生徒に野球の試合をさせたが、生徒と教師の対戦で9人の対戦が、生徒がいきなり全員15名で守備について驚いたが、結局、そのままにして試合を継続した。今までの常識からはみだしているのが勉強になった。

結論として、天井に皿が魅惑的であるように、自分をはみ出す、青島健太郎氏が強調されているのが印象的でした。

(愛知通信三田会 会計 堀尾 厚子・記)

### 岡山通信三田会創立六〇周年 岡山通信三田会60年の歴史 会長 大森 伸司



昭和35年8月14日(日)「岡山通信三田会」創立

昭和35年8月14日(日)「岡山通信三田会」(現在の「岡山通信三田会」)が岡山駅前「みよしの」にて発足した。岡山県三田会から津田英二、千葉和介、日下泰裕の3理事を招き、「岡山三田クラブ」の創立を宣言した。その後、有吉壯一郎君(S28経)が通信三田会(旧)に届けをした。そして休会状態が続く中、瀬戸田副会長の呼び掛けにより、平成8年「ホテルグランヴィア岡山」において第一回「中四国合同通信三田会」

が開催されたのを機に会の活動再開の機運が高まり、平成9年春、牧野津山会長の要請により、「岡山通信三田会」、「倉敷通信三田会」、「津山通信三田会」と3通信三田会体制で活動を再開した。平成9年8月17日(日)に「岡山備南公民館」において復活総会を開催した。そして会則、明石憲彦君(S34経済)を会長に選任して人事等の会の要綱を決定した。明石会長のリーダーシップで、会報、例会、総会および他の三田会との交流等の活動を積極的かつ意欲的に行なった。



平成27年に「中四国合同三田会 岡山大会」開催終了後、明石会長の勇退の希望を受け臨時総会にて承認された。同年4月、大森伸司君(H14法政治)が会長に就任した。現状を踏まえた上で、会報のデジタル化、岡山県下の通信三田会の統合、ホームページの作成、LINEグループおよびEメールによる交流

### 第83回「都鳥の会」相大二郎君講演 令和2年10月11日(日) 瓢樹にて

都鳥の会名誉会長ご講演 (昭和47年文学部哲学科卒業) 学校法人燈影学園名誉学園長 京都ユネスコ協会会長 日本一小さな私立学校の大きなこころを育(はぐく)む教え



燈影学園の教育 明治37年一燈園生活を創めた西田天香は、後に園内外の子供の教育機関として燈影学園を創立しました。現在、一学年10人程度、小・中・高を合わせて僅か120人程度の日本一小さな私立学校ですが、小・中・高の縦の繋がりがありフレンドリーな関係が見て取れます。教職員、保護者も含め一つの家族の様です。

教師も「先生」と呼ばず、名前に「さん」をつけて呼んでいます。教育には、知識や技術を学ぶ「教わる教育」、教師や親の行動・態度が伝わっていく「伝わる教育」、自らの体験による「気づく教育」があります。人間性、価値観、生活習慣など大切なものは言葉では教えられず、「伝わり」「気づく」ことでのみ身につけられます。私達教職員は身を律し、「気づき」を誘発するような環境作りに取り組んでいます。一燈園高等学校は創立以来65年間で、360名の卒業生を世に送り出しました。その中で東大、京大を含む国公立合格者は30人程で難関私学にも多数進学していきますが、一燈園は決して国公立合格が目標ではありません。あくまで自然に合う教育が目標です。

バランスよく鍛える事が重要です。「心」は祈りとして静寂な礼堂で毎朝15分の瞑想と昼食は黙食、「体」は汗として作務と奉仕活動、「脳」は一般の学校で行っている学習です。天香さんは「拝育」を教育の根本におきました。どんな子供でも親から貰った光を持っています。その光を拝みながら育てるのが「拝育」です。先生や親がその光を拝んでゆけば子供たちは立派に育つはず。大正12年の燈影塾開校以来百年間、一燈園の学校には校則はありません。天香さんは「宣伝するな、光っておれ」との遺言を残しています。「生活共同体」はやがて消滅するかもしれませんが「教育共同体」は歴史に遺ってゆくと思います。(富家通江・記)

自然に合う教育・拝育 人は自然の摂理によって「心」と「体」と「脳」を授かって生まれてきます。親を通してはいますが、その親も何ともならない自然の摂理によって授けられるのです。自然に合うためにはこの「心」と「体」と「脳」を

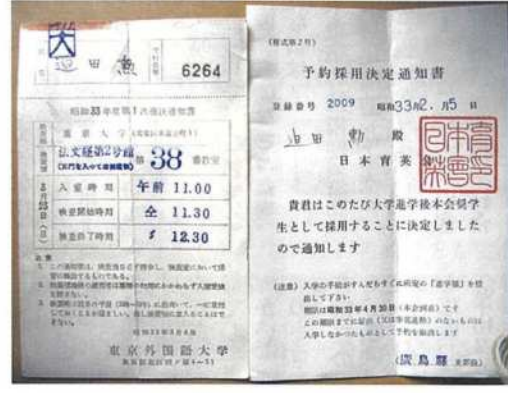
### 「人生は塞翁が馬」 昭43年法卒 迫田 勲

終活を兼ね、離れ部屋を整理していたら本棚の引き出しの中に塾生時代(昭和33年以降)のテキストや課題のレポート、成績などが纏めて保管してあった。その中に東京外国語大学の「一次選抜通知書(受験表)」と日本育英会の「予約採用決定通知書」のハガキを発見、しばしその場で感慨にふけた。

若しあのまま、順調に東京外大を受験していたら違う人生になっていたであろう。受験前の入院、手術と言う不遇で志望校を受験できなかったことで結果的に慶應に入る事になった。今になって見れば伝統ある慶應で学ぶことができ、三田会で多くの塾員と知り合い、今の豊かな人生に恵まれ、良かったと思っ

私の不遇であった事が結果的には慶應に縁ができた良かった、人生は将に「塞翁が馬」であると言うことを伝えたいと思っ60年前のことを紹介した次第である。今の失敗を悲観する必要はない。反対に今の成功に浮かれることを戒めたいものである。

昭和33年3月の東京外国語大学(英米学科)受験を控え、お腹がチクチクする痛みを堪え猛勉強していたが、ついに耐えられなくなり1月下旬緊急入院、7時間に及び手術となった。盲腸が破裂、大腸を洗浄するため、お腹を10cm位切る手術となった。もう1日遅れたら危ないところであった。1ヶ月間入院。その後自宅静養や通院で3ヶ月頃までかかり、東京まで行って受験する自信や体力がなく、断腸の思いで受験を断念した。春頃気力や体力が回復、悔しさや今まで頑張ってきたエネルギーを何かにぶつつけたく、悶々としていた時、大学通信教育のことを新聞で知り、司法試験で有名と聞いていた中央大学の願書を取り寄せ、記入して行くうち、法学部に法律学科しかないことが分かり、断念、急速政治学科のある慶應の願書を取り寄せ入学手続きをした。このように私の青春は人生で最も大切な時、紆余曲折した波乱万丈であった。



### 12/1に三田を表敬訪問 ミュージアム・コモンズ今春オープン

12月1日の多忙な年末に、吉浜副会長、石川総務部長、幸治の3人で、三田を表敬訪問してまいりまして、以下のことをお願い致しました。

最初に塾員センターに伺い、小島与志生塾員センター部長に、①「2020年9月通教課程卒業生名簿」につき、交付申請を申し上げた。②この度、新任でこられた中里史朗課長に「全国通信三田会報」のご協力をお願いしました。



中里史朗氏は、右から2人目長身の方で体育会バレー部で女子部監督をされた経験のある、スポーツマン

その後、交詢社より三田キャンパス東門から二つ目のビルに引っ越された「連合三田会」事務局(フロイントウ三田907号室)を訪問し、大下亨治事務局長にご挨拶しました。昨年9月28日に三田キャンパス東別

館に立替工事を終え、竣工式が行われ、今春にオープンするミュージアム・コモンズ(KeMCo)は、地上11階建てで、慶應義塾の収蔵・展示施設を活用した「分散型ミュージアム」のハブとして機能します。先進的なデジタル環境を備え、デジタル・アナログ融合型の展示施設となります。これまで、慶應での通信教育では「学芸員」の資格は取れなかったが、今後、取得できるようになるのではないかと、大いに期待しております。また、三田キャンパス図書館旧館内では、慶應義塾の歴史や伝統を広く紹介する「福澤諭吉記念慶應義塾史展示館」も今春に向けて準備しているとのことです。(幸治 典子・記)

桜田通りより眺めて右より東門、一つおいて、「連合三田会」事務局のあるオフィス、その隣り白い建物「ミュージアム・コモンズ」



↑三田キャンパス内から見る白い尖った建物が「ミュージアム・コモンズ」



2020年全国通信三田会秋期幹事会 10月17日(土) 13:30~16:00 三田キャンパス

慶應義塾大学三田キャンパス南校舎4F「ザ・カフェテリア」において吉浜副会長の司会により開会
今回の秋期幹事会は、塾員センターと「ザ・カフェテリア」、そして高橋豊副会長と中澤情報システム部長の多大なるご協力により開催にこぎつけることができた。

下記の通り、議長ならびに書記が選出された。
議長：石川総務部長 書記：須賀総務部副部長
次に石川総務部部長より下記の出席確認があり、会議成立の宣言がなされた。幹事総数110名のうち欠欠回答者59名(53%)、三田会場出席者18名・Zoom出席者22名 計40名(36%)、そして無回答者(47%)は議長一任扱いとなるため、会議は成立。

1 議事次第

1. 山岡会長挨拶

秋期幹事会開催にご尽力いただいた皆様へ感謝する。クラスターを発生させないようご協力をお願いします。
コロナによりZoom会議などいろいろなことが変わっていくのではと感じている。コロナ禍であっても各地から会報誌が届いて役員の方々に感謝する。
長谷山塾長と菅沼連合三田会長の連名による緊急支援依頼があり『大学就学支援奨学金』『大学病院医療支援資金』に各5万円を全国通信三田会として寄付した。
今年の新年の福澤先生誕生記念会での長谷山塾長のご挨拶に「よい大学とは、よい学生、よい教員、よい卒業生の揃った大学です」というお言葉があった。

慶應義塾社中を構成する塾員として慶應義塾の発展を願ってそれぞれ頑張ってコロナを乗り切っていきたい。

2. 各部報告(各資料参照)

- 2-1 企画部：出口企画部長より報告。「通教卒業生16,000人達成記念行事」は1年延期して2022年実施を提案する。
2-2 会計：大川副会長より報告。均衡財政の見込み。
2-3 広報部：星野広報部長より報告。会報111号の塾内への投函配布は塾員センター北村課長に特段のご配慮をいただいた。会報112号の原稿募集中、ご協力お願いしたい。
2-4 渉外部：迫渉外部部長より報告。3月卒業生名簿を各地域通信三田会に発送した。
2-5 塾員情報部：金子塾員情報部副部長より報告。正会員857名他新卒者・3年以内の既卒者宛に会報111号発送のため合計1161名分のタックシールを送付した。
2-6 情報システム部：中澤情報システム部長より報告。MLを管理している。会場における会議とZoom会議の併催の運営について模索している。
2-7 総務部：石川総務部長より報告。ユニコン賞募集記事をニューズレター12月号に掲載、応募締切は2021年2月13日(土)。慶應連合三田会HPを10月18日(日)以降閲覧してほしい。次回全国通信三田会役員会2021年2月24日(水)予定。
2-8 地域連絡部：瀬戸田地域連絡部長より報告。Zoom会議も視野に入れ新しい形の合同通信三田会を地域別に構築していきたい。

3. 各地域三田会報告(各資料参照)

- ・東京：伊藤会長より報告。
・茨城：山岡会長より報告。
・沖縄：長濱会長より報告。
・大阪：慶友三田会野村会長より報告。
・埼玉：大川会長より報告。

- ・神奈川：迫副会長より報告。
・千葉：渡邊会長より報告。
・愛知：岩田会長より報告。
・札幌：吉田会長より報告。
・静岡：長澤幹事(前澤会長代理)より報告。
・群馬：星野部長(矢島会長代理)より報告。
・京滋：河合幹事(戸井会長代理)より報告。
・兵庫/和歌山：筒井会長より報告。
・広島：迫田会長より報告。
・山口：由元会長より報告。
・徳島/高知/香川：大原会長より報告。
・熊本：都留会長より報告。
・栃木：近藤氏より報告。
・山陰：松本氏より報告。
・会場出席者：堀田副会長、平松広報部副部長、高橋伸和情報システム部委員、矢部企画部副部長、山川会計補佐、須賀総務部副部長、幸治副会長、高橋豊副会長より一言。
・Zoom出席者：古賀顧問、木村顧問、田中顧問、奥田顧問、東海林徹総務部副部長、柴田会計監査、阿部副会長より一言。

4. 次期役員人事

- ・山岡会長より次期役員会メンバー紹介。
・地域連絡部創設(案)の提案 → 事務局(情報システム部・総務部)と瀬戸田地域連絡部長と協議の上提案作りをする。

5. その他

2021年全国通信三田会春期幹事会は下記のとおり可決された。
日時：2021年5月29日(土)
場所：慶應義塾大学日吉キャンパス(新日吉記念館の見学会を検討)
なお(神奈川通信三田会 50周年記念行事は2022年に延期)。
※下記3点の意見があった。
①会場会議とZoom会議併催につき、聞き苦しいところがあった。
②会場の発言者の顔が映るような工夫があるとよい。
③初めてのZoom併用幹事会は成功裏に運用された。塾員センター、「ザ・カフェテリア」越川店長、高橋豊副会長、中澤情報システム部長ほか、会場・Zoom出席者の皆様のご協力に感謝する。
以上により、石川議長と須賀書記の任が解かれた。吉浜副会長の司会により閉会となった。

幹事会出席者全員で



塾員紹介

世界を股にかけて飛行記録は地球20周

高橋伸和さん(平12経)



高橋伸和さんは世界中に赴き勤務しご活躍された。なんと、飛行記録は地球20周以上。イラクへは戦争約6ヶ月前に戦争相手国のクエート人担当者と訪問。その頃の仕事ぶりなどを伺いました。(聞き手・星野寿美)

Q 卒業論文は『技術進歩と経済成長』と言ったこと、お仕事と直結した内容だったのでですね。海外勤務について教えてください。
A 20年程、電機メーカーの海外ジョブ担当。発電所、海水淡化装置、L N P プラント、地熱発電向け自動制御装置システム、L P G 装置の以下のような業務を行っていました。
○受注活動。(製品の機能説明)
○システムの打合せ。など
○納入した現地設備の稼働援助は韓国(日本語)・中国(通訳)以外は英語による打合せ。

訪問国…アメリカ、韓国、中国、インドネシア、イタリヤ、イギリス、シンガポール、イラク、クエート、サウジアラビア、アルジェリア。
Q 海外勤務で、ご苦労なされた事、感動なされた事、印象的な事は?
A 欧米企業の技術関連職業の「階層化構造と柔軟性」に感動と畏怖を覚えました。「事例1」…ロンドンの客先で、月曜日から技術打合せをしていましたが、金曜日に担当者が突然「ドイツにワーゲンの車を夫婦で買いに行き帰りはドライブして帰る」と言って帰宅してしまっただけ。
次の月曜日に新しい技術者が現れ打合せを続けた。(各人の経験によらない業務標準化と資料管理がなされている)
「事例2」…過去の部長が、責任と給与が低い部門の業務を同じ職場内で実施。(職場内で業務と役職の移動が自由になされている)
Q 誇りにできる思い出も多しと存じますが、
A 「事例1」韓国で打合せ後、食事会。三次会で深夜にホテルに戻り、それから仕事をし、翌日に議事録を提出。客先担当部長から「高橋は『両班』みたいだ」と褒められた。
注…両班(やんぱん)朝鮮

③ 学食探訪。
月に2、3回大学でのシンポジウムや講演会拝聴。生徒に混じって学食(定食)を楽しみます。
一昨年は、慶應日吉、日大、横浜国大、神奈川大学、鶴見大学、商科大学を楽しみました。
② 歴史探訪を堪能。
地元の『鶴見歴史の会』に25年前に入会、歴史研究内容を会報に投稿や講演会講師。区役所の文化歴史展示を実施して楽しんでいきます。
① スポーツクラブライフを堪能しています。
葉山ヨットクラブ50周年・テニスクラブ20周年間在籍。3年前にザバススポーツクラブに入会「トレーニングマシン、エアロビクス、太極拳、ヨガ、水泳」を楽しんでいます。

わが町紹介 福井県坂井市

平成2年は新型コロナウイルスが3月頃から東京を中心に全国に拡大・拡散し、感染者や死亡者が多数続出して経済活動はじめ社会生活にも支障を来す災難の年であった。私の住んでいる福井県は少数の人の被害で終わりそうだ。

さて、私の住んでいる坂井市は人口91,600人で日本海に面した小さな田舎町です。私はこの市の北部の九頭竜川に面した地域で、歴史と伝統文化に富んだ湊町三国町に住んでいる。毎年8月に開催する「帯のまち流し」は細い路地を、帯の幅ほどある町と歌う民謡「三国節」の三味線と太鼓の音に合わせ、浴衣や法被姿の男女がしつとりと踊り歩く初秋の夕暮れの風物詩で有名。今年はコロナ感染拡大防止のため中止となった。

わが町は、江戸時代から明治初期にかけて北前船交易で隆盛を極めた湊町。今も情緒ある格子戸が連なる町屋や帳場、大八車が行き来した石畳の通路、豪商の面影が川沿いに残る商家など古い街中に往時の賑わいを感じる。私の家周辺も格子戸のある家が立ち並んで

いる。
わが坂井市で一番自慢出来る場所は、年間150万人の観光客が押し寄せる天下の奇勝「東尋坊」だ。



奇勝「東尋坊」

見処は、何と言っても自然が造った芸術的な海食崖。荒々しく波に侵食された岩肌、絶壁には日本冬の荒波が打ち寄せる様は実に豪快。これ程の巨大な輝石安山岩柱状節理(五角形、六角形の柱状の岩石の集合体)は、地質学的にも貴重で、国の天然記念物に指定されている。日本ではここ東尋坊1か所だけで、世界にも3ヶ所しかない。大池の絶壁から見下ろす景観は迫力。遊覧船に乗り、この岸壁を見上げるとびっくりする程の高さ(25m)と威圧

感。近くにライオン岩やろうそく岩などの奇岩も楽しめる。春夏秋冬いつでも素晴らしい景観を楽しむことが出来る、この海岸一帯は越前加賀海岸国定公園の特別保護区に指定されている。

また、わが市には古城がある。この城「丸岡城」は、天正4年(1576年)戦国時代の一向一揆の備えとして織田信長の命により、柴田勝家が甥の柴田勝豊に築かせた城で、現存する天守閣では日本最古の建築様式を持つ平山城。城周辺に400本のソメイヨシノが植えられ「霞ヶ城」とも言われる城であり、国指定重要文化財となっている。このような素晴らしい景観を有する街。

機会があったら一度福井県に来てみませんか?

志尾 章(昭和45・3法卒)



日本最古の平山城「丸岡城」